

車種別取付資料

BOX No. 504623

車両情報

トヨタ プリウスα
平成28年5月～

ZVW4#系

1/6ページ

❗ レーダークルーズコントロール無し車

重要！

❗ ◎作業前に必ず車両のバッテリー（マイナス端子）を外し、3分間放置してください。

- バッテリーを接続したままの状態、スマートキーコンピュータASSYのカプラの抜き差しを行うと、ECUが故障する恐れがあります。必ずバッテリー（マイナス端子）を外し、3分間放置してから作業を行ってください。
- バッテリー（マイナス端子）の接続は、必ず全ての接続作業が完了した後で行ってください。

重要！

シリアルNo. BE0001501以降の製品を必ず使用してください。
シリアルNo. BE0001500以前の製品はエンジンスターターにて、エンジンが始動しません。

❗ 注意事項

- ❗ エンジンスターターのリモコンと電子キーは、必ず付属のキーホルダーに取り付けして、ぶら下げた状態で送信操作をしてください。
- ❗ ※エンジンスターターのリモコンと車両の電子キーを重ねた状態で送信操作するとエンジンが始動しません。（認証エラーになります）

❗ 別売のハザードユニットⅡ（商品コード：EP156）を取り付ける場合は、6/6ページを参照してください。

車種別取付資料

BOX No. 504623

車両情報

トヨタ プリウスα
平成28年5月～

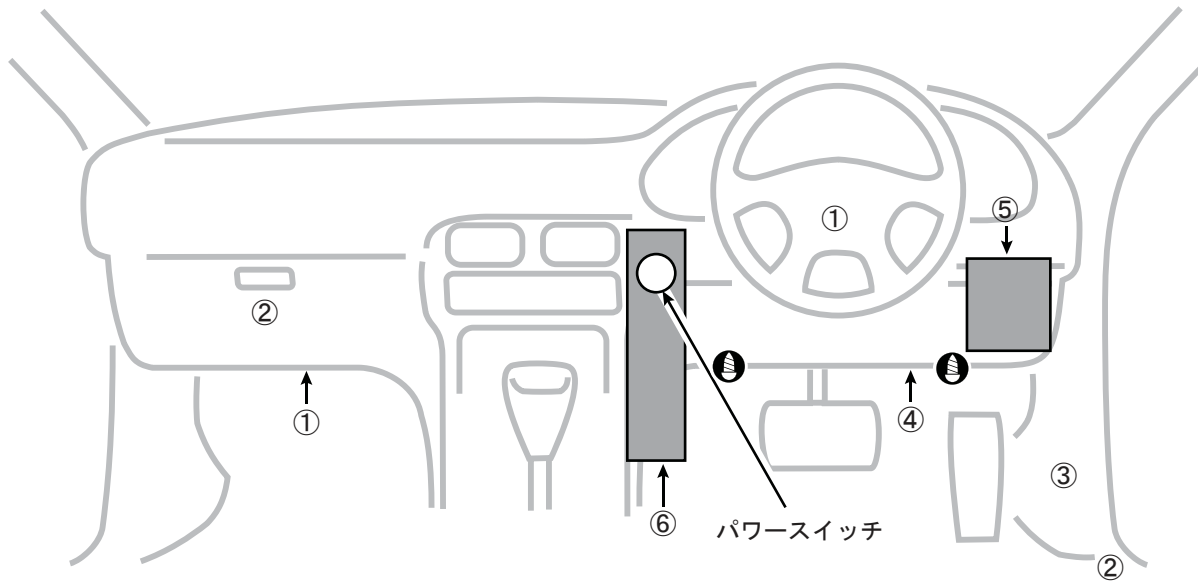
ZVW4#系

2/6ページ

① レーダークルーズコントロール無し車

◎カバー類の取り外しは、必ずこのページの手順のとおりに行ってください。

① 各配線の取り付けについては、3/6～6/6ページをご覧ください。



① カバー類の取り外し方(運転席側)

- ① コラムカバーは、フットブレーキ右側カプラ(7P)の配線作業スペース確保のため、外して作業することをお勧めします。なお、コラムカバーのみ、補機バッテリーを外す前に外してください。…ハンドルを回さないと、正面のツメが外せないため。
- ① コラムカバーを外す。…コラムカバー(下)を左右から押し、左右のツメを先に外し、最後にハンドルを回して左右正面の穴にマイナスドライバーを挿入して正面のツメを外し、コラムカバー(下)を外す。
- ② 右サイドステップカバーを外す。
- ③ 右サイドカバーを外す。…樹脂ナット(1個)を外し、カバーを室内側に引っ張る。
- ④ アンダーカバーを外す。…左右のネジ(2本)を外し、手前側のフック(2箇所)を先に外し、カバーを奥側にスライドさせてから外す。
- ⑤ 右側のスイッチ付きパネルを外す。
- ⑥ パワースイッチ(一体)のカバーを外す。

① カバー類の取り外し方(助手席側)

- ※オプションのハザードユニットIIを取り付ける場合のみ外す。
J/Bへの接続作業を行うためには、下記の部品を順番に外してください。
- ① アンダーカバーを外す。…手前側のフック(3箇所)を先に外すこと。
- ② グローブBOXを外す。…左側のダンパーフックを先に外すこと。

止めネジ等



車種別取付資料

BOX No. 504623

車両情報

トヨタ プリウスα

ZVW4#系

3/6ページ

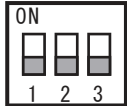
平成28年5月～

① レーダークルーズコントロール無し車

① 注意事項

- ・取り付けできるエンジンスターターは、プッシュスタート専用モデルのNEXT LIGHT-T2 (商品コード:ESL51) のみです。
- ・専用ハーネス (商品コード:T152S) を使用します。
- ・取り付け後は、初期設定が必要になります。(本ページ左下参照)
- ・エンジンスターターにてエンジン始動の際は、必ずリモコンと電子キーを付属のキーホルダーに取り付けし、ぶら下げて使用してください。
- ・3cm以上離してリモコンを操作するとエンジンは始動しません。

DIP-SW



リレーユニットのDIP-SWは、全てOFFにセットされていることを確認してください。(出荷時は、全てOFFにセットされています。)

① 専用ハーネスの取り付け方法は、本ページと4/6ページを参照してください。

初期設定

配線・リレーユニットの取り付け終了後、下記の手順で設定を行ってください。

- ① 車両のイグニッションをONにする。
- ② リモコンでSTOPを押す。
- ③ 車両のブレーキを踏み、リレーユニットのアラーム音が変わった後(約3秒後)ブレーキを放す。
- ④ 車両のイグニッションをOFFにする。
- ⑤ 設定完了

※設定作業をしないとエンジンスターターでエンジンがかかりません。

配線内容(専用ハーネスの配線色)

車両配線色

専用ハーネス

T152S

① 取り付け方法

- ① 専用ハーネスの10P中継コネクタを、エンジンスイッチ裏側のカブラに割込接続する。
- ② 黄色/青色/橙色の3本をそれぞれエレクトロタップを使用して上記の場所に接続する。(あらかじめ接続先の配線は、テスターで電圧を確認して、確実に接続してください。)
- ③ 桃色/紫色/赤色の3本(青色のタップ付き)は4/6ページを参照の上、接続先を間違えないように注意して接続する。
- ④ アース(黒色)を、指定位置に固定する。
- ⑤ 14PコネクタをリレーユニットのCN1に接続する。

パワースwitchの裏側
10P白色カブラ

専用ハーネス

10Pコネクタを割込接続

① 専用ハーネスのアース(黒)取付位置:
右サイド上側のアースポイントのナットに
共締めしてください。

サイドカバー内左下
12P白色カブラ

専用ハーネス

12V(黄)

白

① オプションのハザード
ユニットを取り付ける
際の12V(黄)接続先
もこちらに配線

フットブレーキ右上側
5P青色カブラ

専用ハーネス

IG1入力(橙)

灰

専用ハーネス

STOP出力(青)

緑

① 通常時: 0Vで、
フットブレーキを踏んだ
とき: 12V

車種別取付資料

BOX No. 504623

車両情報

トヨタ プリウスα
平成28年5月～

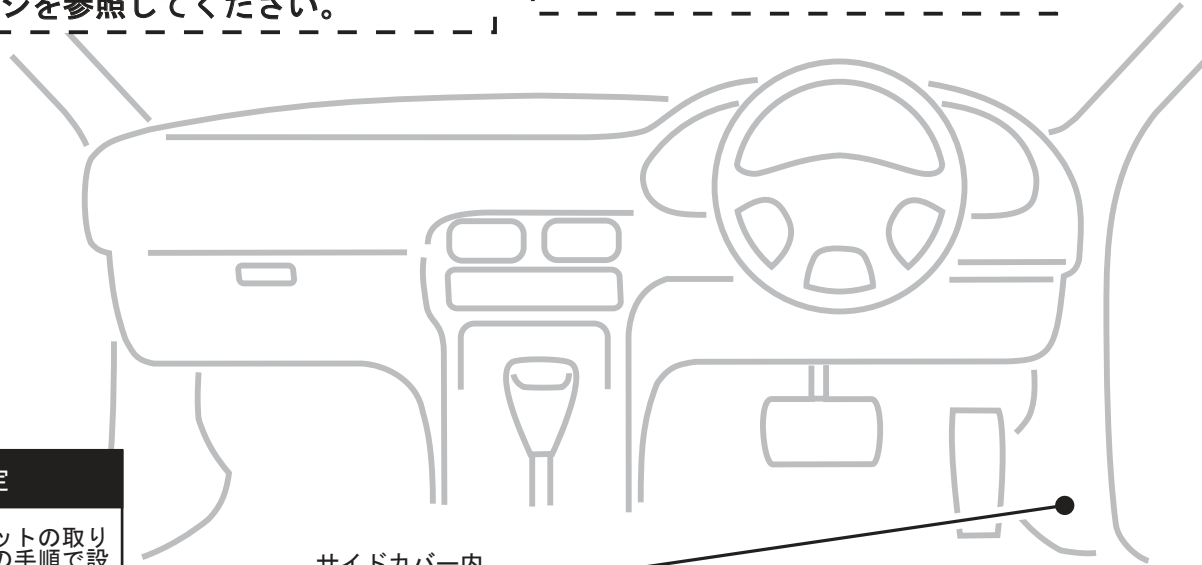
ZVW4#系

4/6ページ

① レーダークルーズコントロール無し車

① 専用ハーネスの取り付け方法は、本ページと3/6ページを参照してください。

① CN2ハーネスの各配線の取り付けは5/6ページを参照してください。



初期設定

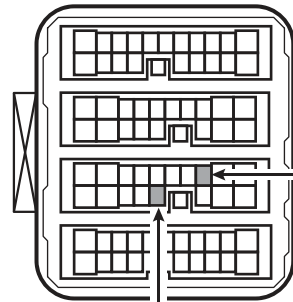
配線・リレーユニットの取り付け終了後、下記の手順で設定を行ってください。

- ① 車両のイグニッションをONにする。
 - ② リモコンでSTOPを押す。
 - ③ 車両のブレーキを踏み、リレーユニットのアラーム音が変わった後(約3秒後)ブレーキを放す。
 - ④ 車両のイグニッションをOFFにする。
 - ⑤ 設定完了
- ※設定作業をしないとエンジンスターターでエンジンがかかりません。

配線内容(専用ハーネスの配線色)

車両配線色

サイドカバー内
76P白色カプラ



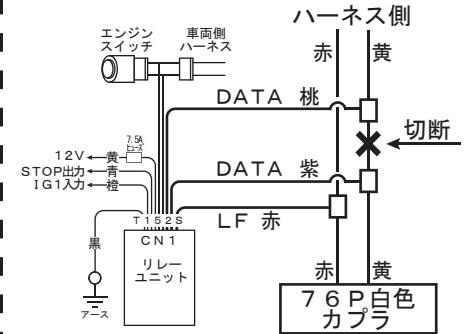
専用ハーネス
DATA (桃)
DATA (紫)
黄

① 参照

専用ハーネス
LF (赤)
赤

ハーネス接続方法

- ① 専用ハーネスT152Sの桃色と紫色配線は、車両側76P白色カプラの黄色線を切断して、接続します。
桃色と紫色配線は、接続先を逆にしないように注意すること。



- ① 接続後、青色のタップから黄色配線がはみ出さないように処理して、絶縁テープを巻いてください。

車種別取付資料

BOX No. 504623

車両情報

トヨタ プリウスα
平成28年5月～

ZVW4#系

5/6ページ

① レーダークルーズコントロール無し車

① 特有の注意事項

- ※エンジンスターターでアイドリング中は、電子キーの操作等でのドアロック/アンロックは作動しません。また、エンジンスターターによるアイドリング停止後は、電子キーの操作(ドアノブを握る)でアンロックはできません。…リモコンのSTOP操作でエンジンを止めてから、キーレスエントリーでアンロックをしてドアを開けてください。
- なお、NEXT LIGHTのリモコンによるアンロック操作は、アイドリング中も停止後も可能です。
- ※予備(スペア)の電子キーも含めて、全て車室外に出してからリモコンでエンジン始動操作をしてください。…エンジンスターターにてエンジンがかからなくなります。

① CN2のL端子(茶)接続先が無いため配線はせずに、オート検出にて使用してください。

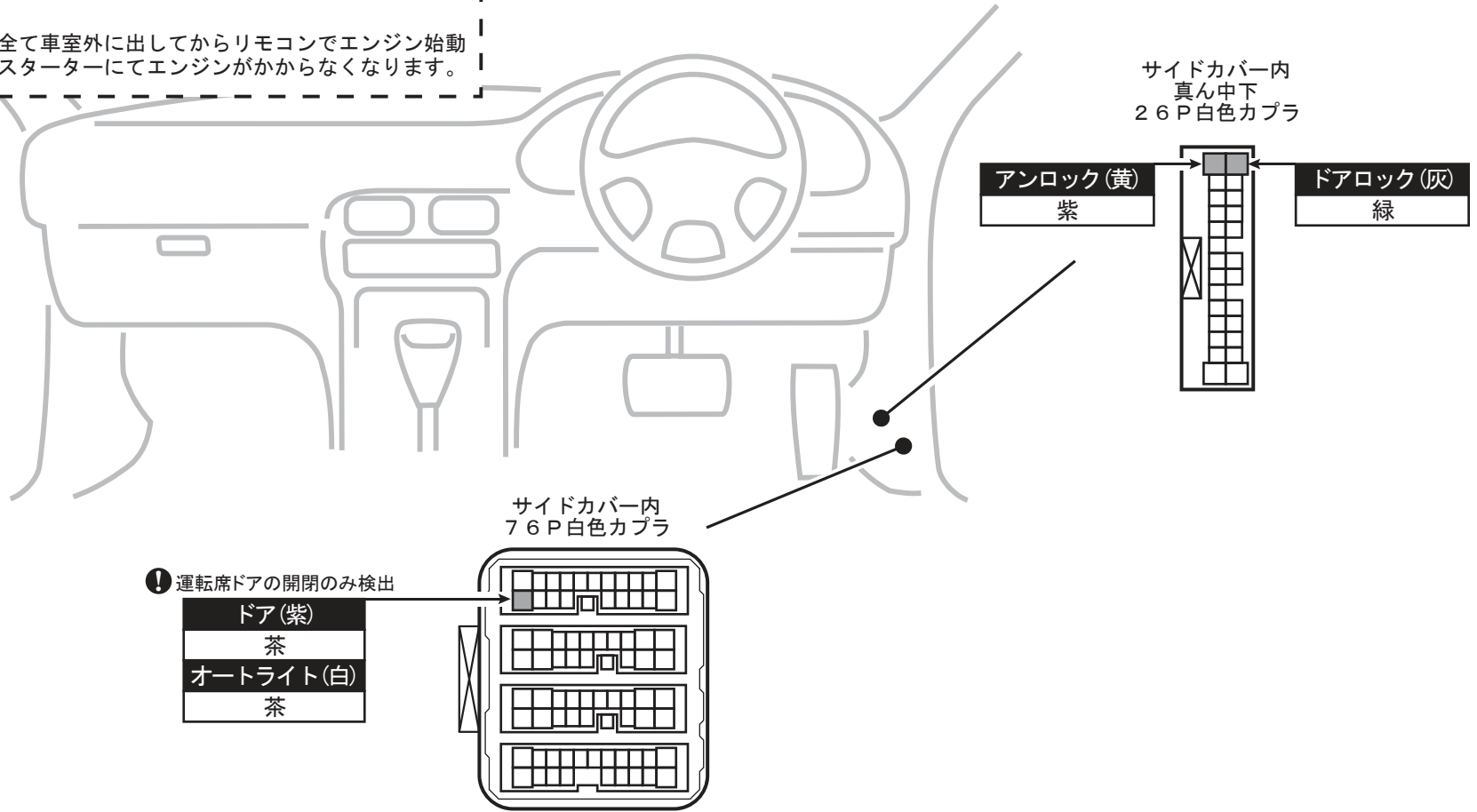
初期設定

配線・リレーユニットの取り付け終了後、下記の手順で設定を行ってください。

- ① 車両のイグニッションをONにする。
 - ② リモコンでSTOPを押す。
 - ③ 車両のブレーキを踏み、リレーユニットのアラーム音が変わった後(約3秒後)ブレーキを放す。
 - ④ 車両のイグニッションをOFFにする。
 - ⑤ 設定完了
- ※設定作業をしないとエンジンスターターでエンジンがかかりません。

配線内容(リレーユニットCN2線色)

車両配線色



車種別取付資料

BOX No. 504623

車両情報

トヨタ プリウスα
平成28年5月～

ZVW4#系

6/6ページ

❗ レーダークルーズコントロール無し車



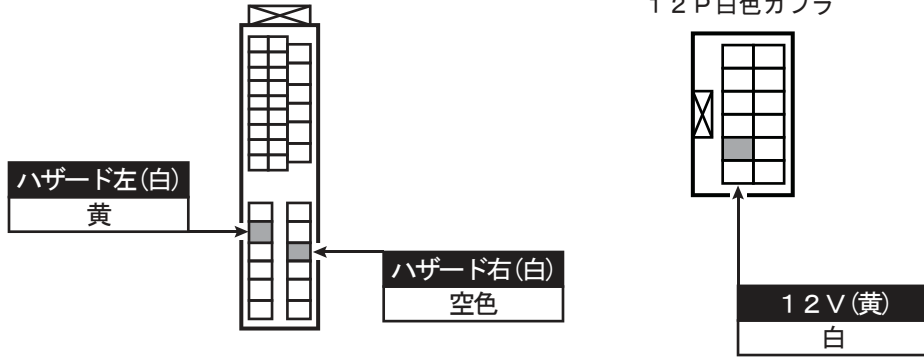
ハザードユニットⅡを取り付ける場合のみ

❗ 注意事項

- ・接続前に必ず、接続先の車両側配線の作業電圧をテスター（電圧計）にて確認してください。
- ・接続先の作動電圧
通常時（何もしていないとき）：0V
ハザード（右）：右ウィンカースイッチを入れてウィンカーランプが点滅しているとき、点滅周期に連動して12Vになる。
ハザード（左）：同様に左のウィンカースイッチを入れて、点滅周期に連動して12Vになる。

J/B内上側
36P白色カプラ

サイドカバー内左下
12P白色カプラ



配線内容 (リレーユニットCN 2線色)

車両配線色

❗ ハザードユニットからの白色線2本をそれぞれに接続

NEXT LIGHT Q & A

ESL51-3

平成28年 6月27日

Q1 認証エラーでエンジンが始動しない (図1)

- A1: リモコンと電子キーは3cm以上離れないようにして、ぶら下げた状態で使用してください。(図2)
※リモコンと電子キーは重ねず使用してください。
- A2: 全ての電子キーを車室外へ出して始動させてください。
※車室内に電子キーがある場合は始動しません。
- A3: 車両の電子キーの電池を新品に交換してみてください。(年式の古い車両)
※電子キーの電池が消耗していると始動しません。
- A4: L F配線の接続を確認してください。
※正しく接続されていないと始動しません。
- A5: 電子キーケースなどを装着されている場合は、外して使用してみてください。

Q2 車両の近くでは始動するが離れると認証エラーで始動しない

- A1: アンテナケーブルのコネクタが抜けていないことを確認してください。
※抜けていると、20m~30mしか飛びません。(図3)

Q3 エンジンスターターは始動するが、電子キーが使用できない

- A1: 車両側の配線をカットして接続するDATA配線の接続を確認してください。
※正しく接続されていないと、電子キーが使用できません。

Q4 専用ハーネスと車両側のカプラが合わない

- A1: 電子キーの形状により製品及びハーネスが異なります。(図4)

Q5 エンジンスターターの載せ換え等により初期設定ができない

- A1: 載せ換え前の車両がNEXTLIGHT 追加ハーネスを使用して取付けされている場合、初期設定の方法が異なる為、STOP入力検出設定を解除していただく必要があります。取扱・取付説明書の「設定のリセット」では、STOP入力検出設定は解除できませんので、必ず下記の手順で設定をしてください。
その後、通常の初期設定(3/6ページ参照)を行ってください。

STOP入力検出の解除設定

- ① 車両のプッシュボタンを2回押して、イグニッションを「ON」にする
---- 受付時間 10秒以内 ----
- ② 「START」「UNLOCK」ボタンを同時に押す
→送信音: 「ピーッ」
→ブザー: 「ピーピーピー...」
---- 受付時間 10秒以内 ----

- ③ 「STOP」「LOCK」ボタンを同時に押す
→送信音: 「ピーピーッ」
→ブザー: 「プププ...」
---- 受付時間 10秒以内 ----
- ④ 「STOP」ボタンを押す
→送信音: 「ピーッ」
→ブザー: 「ププー」
---- 解除設定完了 ----
- ⑤ 車両のプッシュボタンを1回押して、イグニッションを「OFF」にする

